

美術科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考・判断・技能】

自分のイメージをもとに、ふさわしい方法で工夫し表現する力を身に付けさせる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 既成のイメージにとられやすい。 表現に必要な技能が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートによる発想のトレーニング 用具の扱い、表現方法の支援（板書や演示） 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> 美術大学との連携が創造活動により影響を与えた。 板書による説明により理解を推進し、必要な技能を身につけられ出した。 国語科との連携が発想力の向上により影響を与えた。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> イメージを表すための表現技能（スケッチなど）が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートによるアイデアスケッチ 板書や演示の工夫 ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 単元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートによるアイデアスケッチによりイメージの具現化がみられるようになった。 わかりやすい図による板書を活用することで、表現力の向上が見られた。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 自分のイメージを表現する技能が既習内容のみに偏ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現技能の紹介、習得（板書や演示） ペアやグループによる学び合い 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごと 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な美術大学との連携や対話的な活動を通して発想が深まり、自ら工夫することで表現力が向上する生徒が増えた。

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 イメージについての話し合い（個人、ペア）
- 2年 イメージに相應しい技能の開発、話し合い（グループ活動）
- 3年 イメージと技法の関係についての話し合い（グループ活動）

■小中一貫教育共通プログラムに関連して

- 1年 授業規律の確立・維持 一斉指導と個別指導の充実
- 2年 授業規律の確立・維持 一斉指導と個別指導の充実
- 3年 授業規律の確立・維持 一斉指導と個別指導の充実

--	--